

とちぎ建築プロジェクト 2019 マロニエ BIM 設計コンペティション

【 応募要項 】

1. 趣 旨

今回から、とちぎ建築プロジェクト・マロニエ BIM 設計コンペティションは全国組織である（一社）日本建築士事務所協会連合会との共催となり、応募資格を拡大して生まれ変わることとなりました。これまでも 2 次元ドローイングベースではなく 3 次元のデータで審査が行われることに特徴があり、学生が BIM を使って短期間でデザインを生み出す能力を奨励してきました。

デザインのデジタル化の強みの一つに、より短時間で視覚的にわかりやすい表現を作成して、関係者の反応や協力を引き出すことがあります。プロジェクトの熟成には長い時間をかけたほうがいいのですが、素早いサイクルは、むしろその促進に有効です。こうした BIM の効果を意識した能力を求める活動を一地方団体から発信してきた理由は、情報技術により地方の建設業界の活性化や組織的協力を可能にしたいという思いもありました。BIM の特徴的な活用の一つは共同作業の効率化にあり、時間と場所の制約を超えてネットワークを活用することが、新たな機会を生むと考えたからです。過去の入賞者には本コンペが出会いとなって移住・就職したケースも生まれました。そこで人材の育成と雇用の拡大、そして特色ある建築文化の発展に寄与する「BIM による地方創生」の意義を見据え、学生と実務者の両方に参加してもらえるように見直しました。

同時に、これまで比較的に対大手組織や大型物件で先行してきた BIM の活用が、これからは小規模組織や、小規模物件にも普及すべきだと思っています。そこで設計を統括する立場で総合的な視点から設計に取り組めるツールとしての BIM を考え、個人単位での応募を条件にしています。

使用するソフトウェアなどに制限はなく、試用版などでも全く構いませんのでこの機会に新たな挑戦してもらえればと思います。提出物は IFC フォーマットに変換したものを求め、審査員も原則としてこの BIM データをビューワーで閲覧します。このコンペティションの審査の基準として建築空間の魅力や斬新性、機能性や実現性などは当然として、同時に「BIM の使いこなしかた」も意識したいと考えています。もちろんこの点だけを明確に区別することは不可能であり、最終的には総合的な判断で優秀作品を選定することになると考えていますが、BIM データにおいては IFC のクラス分類状況を閲覧することも可能です。BIM の技術力が建築の創造性や質を向上させている様な理想形を求めるために、その内部データ構造も参照します。

このコンペは建築界を変革していく期待の高い BIM 技術の普及を大きな目標に置きつつ、その中でも比較的未開拓の小規模設計組織における利用を開拓することで国内建築産業の活性化にも寄与したいと考えています。

2. 設計課題（概要）

「宇都宮市森林公園サイクルロードセンター」

栃木県宇都宮市の名前が世界中に報道される日が1年に一度あることを、日本人の方がよほど知らないかもしれない。それは自転車ロードレースのジャパンカップが行われる日（2019年度は10月20日）である。1992年から開催されており、世界の一流選手が集結して本気の戦いを見せるアジアでは有数の存在とあって、コースとなる宇都宮市森林公園の古賀志林道には世界中からの観戦者8万人が集まり、そのほかの関連イベントも含めた3日間は町中が熱気に包まれる。

今回の課題はスタート／フィニッシュ地点である森林公園内に常設施設として「宇都宮市森林公園サイクルロードセンター」を建設することである。宇都宮市森林公園は宇都宮市民の休日の憩いの場であり赤川ダムを中心にキャンプ・バーベキュー・森林浴・自然観察・ハイキングなどが楽しめる緑豊かなアウトドアスポットであり、既にある程度のレストランや多目的ホール、宿泊所などの施設があり、自然環境の中での会議や研修にも利用されている。そこで世界中が注目するステージの背景として宇都宮のイメージ作りに貢献するとともに、レース開催時でなくとも、この「聖地」を訪れる自転車ロードレースファンのコース体験ガイドや、周辺観光情報の提供、関連商品などの販売などの活動を通じて、世界的なイベントの持つ集客および観光交流効果を年間通じて地域に還元できるのではないだろうか。サイクリングは幅広い層が楽しめて、自転車やウェアなどの関連グッズやファッションなどへの広がりもある趣味性の高いスポーツだ。現時点は全く架空の計画であるが、現実味のある応募案が提出されることで今後の整備への期待が膨らみ議論が進むことを本設計競技としても歓迎したいと考えている。なお設計対象となる具体的な機能プログラムについては、設計競技開始時に公開される。

*具体的な設計条件及び建設場所の詳細は、11月3日PM12:00に公開します。

3. 応募資格者

学 生：一級建築士の受験資格要件に定められた学校に在籍する学生（個人）

社会人：（一社）日本建築士事務所協会連合会の各単位会に所属する

建築士事務所の所員（個人）

*エントリー時点で単位会会員でない者は、作品提出締切日（令和元年11月6日）までに各単位会に入会申請することを条件とします。

4. 応募の手続き

(1) エントリー

- ・期 間：令和元年 10 月 1 日 PM12:00 ～ 10 月 28 日 PM12:00
- ・エントリー方法：栃木県建築士事務所協会 HP より「とちぎ建築プロジェクト 2019」内 マロニエ BIM 設計コンペティション「エントリーシート」にて登録して下さい。

(2) コンペティション

- ・期 間：令和元年 11 月 3 日 PM12:00 ～ 11 月 6 日 PM12:00 (72 時間)
- ・設計条件の発表：令和元年 11 月 3 日 PM12:00 に参加者に配信します。
- ・作品提出方法：提出先、方法等の詳細情報は、10 月中旬に栃木県建築士事務所協会 HP にてマロニエ BIM 設計コンペティション「実施要領」を公開します。
- ・提出期限：令和元年 11 月 6 日 PM12:00 までに提出

5. 審査及び 発表

1 次審査(非公開)：審査委員にて学生 5 作品、社会人 5 作品前後を最終バネット作品として選考し、入選者には 11 月 19 日に通知します。

最終審査 (公開)：令和元年 11 月 26 日「とちぎ建築プロジェクト 2019」にて公開審査を実施します。最終審査は、原則としてビデオによる審査となりますので、入選者は 11 月 24 日までにプレゼン用ビデオを提出して下さい。

* 公開審査後に表彰式及び審査委員の先生方による作品講評、懇親会等が企画されておりますので、入選者の方は出来る限り出席して下さい。

6. 審査委員及び 賞

審査委員長：ヨコミゾマコト 東京藝術大学教授、建築家

審査委員：石澤 幸 ㈱竹中工務店 設計本部アドバンスデザイン部

審査委員：池田 靖史 慶応義塾大学教授、建築家

審査委員：川村 定男 (公財)とちぎ建設技術センター 常務理事

審査委員：佐野 吉彦 (一社)日本建築士事務所協会連合会 理事

賞：最優秀賞	1点
優秀賞（ヨコミゾマコト 賞）	学生・社会人 各1点
優秀賞（石澤宰 賞）	学生・社会人 各1点
優秀賞（池田靖史 賞）	学生・社会人 各1点
優秀賞（とちぎ建設技術センター理事長 賞）	学生 1点
優秀賞（日本建築士事務所協会連合会会長 賞）	学生・社会人 1点程度

7. 著作権

応募作品に関する著作権は各応募者に帰属します。ただし、主催者がこの事業の趣旨に基づいて、入賞作品を会誌・ホームページに掲載または展示等のために用いる場合は、入賞者は無償でその使用を認めることとします。

8. その他

- ・ 応募作品及び関係書類等は返却しません。
- ・ 審査に関する質疑は受け付けません。
- ・ 応募規定に違反した場合は、授賞を取り消すことがあります。
- ・ エントリー期間中の BIM ソフト及びサポートサービス等についての相談は、下記の BIM ベンダー（協賛企業）に直接お問い合わせください。

【BIM ベンダー】 エーアンドエー（株）、オートデスク（株）
グラフィソフトジャパン（株）、福井コンピュータアーキテクト（株）